

1面からのつづき

### 兵庫県支部

## 兵庫県支部総会 盛會裡に開催される 早乙女支部長後任に 服部忠彦氏選任

平成二十九年七月二日(日)兵庫県支部では、例年の会場の神戸市東灘区の本酒醸造元『桜正宗』が経営する「櫻宴」にて、来賓一名の他、会員四十七名と委任状提出者八十二名計一九九名にて支部総会を開催しました。

総会開催に先立ち、今年度の春季善行表彰受賞者「金章」一名、「銀章」四名と共に、八十年記念表彰者「功績章」一名、「永年会員感謝状」六名の他「支部長職感謝状」一本、部役員感謝状」の伝達が行われ、続いて二十九年度の支部総会に移り、藤田善行会長の祝辞の披露と共に来賓の兵庫県青少年指導センター協議会会長の川島隆司氏挨拶の後、支部のプロック輪番制による議長高部武久氏の議事進行で全議案が進行されました。

### 福岡県福岡支部

## 平成二十九年年度福岡県福岡支部総会並びに春季善行表彰・特別表彰伝達式の開催

福岡支部の総会並びに春季善行表彰・特別表彰(金章・銀章)伝達式を、平成二十九年六月三日(土)太宰府市いきいき情報センター多目的ホールで開催した。総会では鳥巢支部長の挨拶で、福岡支部の現状と基盤確立のための会員獲得の必要性について説明。審議の結果事案全てが承認された。引き続き別室で表彰伝達式を行った。前太宰府市長(福岡支部顧問)井上保廣様・衆議院

行われ、続いて二十九年度の支部総会に移り、藤田善行会長の祝辞の披露と共に来賓の兵庫県青少年指導センター協議会会長の川島隆司氏挨拶の後、支部のプロック輪番制による議長高部武久氏の議事進行で全議案が進行されました。特に支部長補選の議案については、現支部長が昨年支部総会で任期二年の満了となり、残任期間一年の補選について、他に支部役員会の推薦者で副支部長の服部忠彦氏が選任されました。退任される早乙女支部長は、八十八歳の高齢で、会員歴三十一年の間、副支部長八年・支部長七年就任され、現在平成二十四年から本部の理事に就任されております。総会の記念写真の撮影者欠席のため記念写真の撮影が出来なかつたことは残念でした。

議員原田義昭様・前太宰府市長(福岡支部顧問)小柳道枝様から祝辞を賜った後、支部長から春季善行表彰受賞者・特別表彰受賞者一人一人に表彰状と善行章・金章・銀章が手渡された。受賞者と全員の記念写真は、太宰府市の広報誌に掲載のため、太宰府市役所広報課の方に撮影をお願いした。表彰伝達式終了後別室において受賞者と会員との親睦会を行った。楽しいひとときを過ごした。最後に日本善行会と福岡支部の益々の発展と、参列者のご健康とご多幸を祈念して、博多一本締めで締めくくり全てが終了した。ご協力いただきました日本善行会事務局の皆様へ厚くお礼申し上げます。

## ふる里自慢

### 福岡県北九州支部

#### 伝統文化・地域研究者 西村 剛

主要な国道や鉄道路線の起点であり、九州の最北端に位置することから、海上交通においても要衝であるため、港湾機能の利便と大阪に次ぐ日本銀行二番目の支店開設で経済でも潤った門司。細川忠興の築城で藩庁の置かれた城下町と祇園太鼓の小倉・遠洋漁業基地と旧日産コンツェルンのルーツとなる戸畑・官営製鉄所と初のB129大本型爆撃機を使用した日本本土空襲を受けた八幡・

完成当時は東洋一の大吊橋といわれ筑豊の石炭積み出し港として繁栄した若松など、それぞれのストリーパーを持った街があった。それらの街が未だ世界に類を見ない五市対等合併を実現し、当時の日本五大都市(横浜・名古屋・京都・大阪・神戸)以外では初の政令指定都市となり、九州初の百万都市として昭和三十八年に誕生した北九州市を中心として、遠賀川式土器など弥生時代の農耕文化を伝える中間市、アジア大陸からの侵攻防御に築かれた古代山城で国指定史跡の御所ヶ谷神籠石を抱く行橋市、修験道の山として有名な求普堤山を背にする豊前市、鎌倉時代末から始まったとされる茶屋で有名な芦屋町など、

北九州市に隣接する三市九町で北九州支部は構成されていま。前述の生い立ちや、江戸時代までは筑前国と豊前国に跨っている政治的背景から文化や習慣の違いもある。その地域から二つのユネスコ世界文化遺産が誕生した。まずは平成二十七年七月五日にドイツのボンに於いて決議された『明治日本の産業革命遺産・製鉄・製鋼・造船・石炭産業』であり、官営八幡製鉄関連で



の施設が、もう一方は平成二十八年十二月にエチオピアのアデイスアベバに於いて、決議された『山・鍾・屋台行事』である。この遺産の中に福岡県からは博多祇園山笠行事と同時に、戸畑祇園大山笠行事も指定され、北九州の誇る貴重な産業及び文化遺産である。資産の内容については、次回にあらましを述べたいと思います。



## 会員の声

### 青少年健全育成と防犯、交通安全に

#### 和歌山県橋本市 本部会員 阪口 繁昭

シベリア抑留、復員以来、懸命に続けています。大勢の戦友がマイナス三十五度の状況で放置されている事を思い出すと、社会のボランティア活動に専念することは苦になりません。先月末報道によりまずと、通学途上交通事故の犠牲になるのがピカピカの小学生が



多いと知ることができました。先日、橋本市の小学校で一年生を対象に交通安全教室を開催しました。信号機のある横断歩道を安全に渡る、また、信号機のない横断歩道を安全に利用するには、しっかりと手をあげて横断し、ドライバーにわかってもらうようにすること、また、車が止まってから確認するか、しっかりと確認する。私たちが作った模型の自動車を利用して理解してもらいました。この交通安全教室は五月二十四日まで続けられました。子供たちが元気に通学するのを守りながら、通学することを私たちが心より念願する毎日です。

### 福島県支部

## 新支部設立など決議

### 福島県支部総会

福島県支部の平成二十九年年度第二十三回定期総会は、四月十五日(土)郡山市の「三松会館」で開催しました。総会には、県内各地から二十八名の会員が参加。来賓には支部設立時から継続して地元の根本匠衆議院議員と増子輝彦参議院議員がお祝いに駆けつけてくださり、総会に花を添えて頂きました。

総会では、本年度も清掃活動や交通安全折鶴寄贈と併せ、地域の活動にも積極的に参加し、善行会活動のPRに努め、会員増強を図ることなどを採択しました。

### 愛知県支部

## 平成二十九年年度支部総会開催

### 支部総会開催

愛知県支部平成二十九年年度総会が、五月二十七日(日)から名古屋市中区のロイズコートホテルにおいて参加者十七名にて開催された。会に先立ち本年度善行銀章を受章された浅野香代子様と支部長より伝達された。その後総会で、平成二十八年度事業報告及び決算報告が報告され、全会一致で可決された。続いて本年度は役員改選年であるが、支部結成十周年であり現在の役員で引き続き行うことが了承された。最後に平成二十九年年度事業計画及び予算案も全会一致で可決された。

また、長年の懸案であった県南と県北地区に新支部設立に向けた役員体制の整備を行い、県内全域から善行表彰の推薦を図るとともに、これまでのエコキヤップ収集や活動資金確保のためのアルミ缶収集なども継続することを確認しました。総会終了後は昼食懇親会を開催し、会員相互の交流を深めました。



## 善行川柳

選者 東 逸平

○タンポポの やさし笑顔に 力湧き 北海道 齊藤 勉

評/北の大地に咲いているタンポポが、やさしい笑顔に見えて思わず明日への勇気が湧いてきます。《やさし笑顔》を《やさしい笑顔》と助詞を取った方が次の《力湧き》が、ぐんと力が湧いてきます。川柳は読む文芸ですが、読むは聴くに直結します。《に》の助詞を取った方が耳当たりが良いですよ。

○台風で 甚大被害 あいついで 東京都 千歳 鈴

評/台風での《で》あいついででの《で》聴く耳には、少し気になります。《被害甚大》は直球的な表現ですから《かなしい知らせ》とすると、作者のやさしい心が滲みまします。《台風で》は《台風の》としましうよ。

○一日一善 できたか 振り返る 香川県 丸野 忠義

評/《一日一善できたが》で、5+7で12字になるのです。《一日に 一善できたか 振り返る》では、

※紙面の都合上投稿原文より一部割愛させていただきます。